

晩夏の候、連日猛暑が続いており、体温並みの気温と熱風に見舞われておりますが皆様体調を崩されていないでしょうか。また7/28には熊本県震源で最大震度7の地震が発生し、嬉野市も震度4の揺れを観測しました。熊本では大変な被害が広がっています。救出作業が進みますようお願いばかりです。

## 元気に育ってね！しいば川 稚魚放流

青少年育成部会 R8.7.13



達者でな〜

雨続き後の7/13午前中、轟小前の椎葉川に轟小1年生、大野原小1・2年生、岩屋保育園年長さんたち

総勢40名が集まり、恒例のうなぎとモクズガニの稚魚放流をしました。水かさも高かったですが、事前に轟小4・5・6年生が苔の掃除などを行ってくれたこともあり、低学年の子供達も事故なく放流することができました。青少年育成部会（太田光郎部会長）スタッフやご近所サポーター、



うなぎだよ〜



もくずがに

### 7月のお花



### パイナップルリリー

(ユーコミス)

南アフリカ原産の球根植物。花言葉は「完璧」。今年も庭に元気に咲きました。

子供達を引率して下さった先生方、市役所職員の皆様、大変暑い中お力をお貸し頂きありがとうございました。ウナギの顔の形が「牛みたい」と言う子がいて、子供の観察眼に驚きました。うなぎは「降河回遊魚(こうかかいゆうぎょ)」で、川で長い時間を過ごして成長し、産卵の為海へ下る魚です。産卵をし一生を終える、いわば海へは片道切符なのです。海で生まれたその子供達が川を遡上してきます。川の「魚道」構造など、人間目線で作られた護岸の環境は、回遊魚にとっては厳しいものが多いそうです。吸盤がなかったり、泳力の弱い魚は川を遡れずにコンクリートの隅で窮屈に生活していると聞きました。子供達には「牛みたいな」うなぎが海へ出て、その子供達が川を上って来るにはどんな環境が必要なのか、力の弱い生き物目線で探求できる大人になってほしいと思いました。轟っ子・大野原っ子の中から、水質研究や河川工事の専門家が生まれたら、これ程嬉しく頼もしいことはありません。若者たち、よろしく頼みます！

その大野原小中学校前にひまわりが咲いています！ぜひご覧下さい♡

